

ニッペ ファインDFベスト ターペン可溶セラミック変性フッ素樹脂屋根用塗料

□ 特 長

- ・弱溶剤系であるため、臭気がマイルドで、下地を選ばずに塗装できます。
- ・乾燥が速く、作業性にすぐれています。
- ・耐候性にすぐれています。

□ 塗 料 性 状

色		塗 料 液 (主剤)		硬 化 剤		
色		各色		無色		
密度(g/cm ³)(23℃)		1.01 (混合液)				
光 沢		つや有り				
引 火 点		41℃		41℃		
発 火 点		190℃ (参考値)		454℃ (参考値)		
消 防 法 表 示	化 学 名	合成樹脂エナメル塗料		合成樹脂クリアー塗料		
	危険物区分	第4類 第2石油類(非水溶性)		第4類 第2石油類(非水溶性)		
	危険物等級	III (火気厳禁)		III (火気厳禁)		
有 機 溶 剤 区 分		第3種		第3種		
毒 劇 物 表 示		－		－		
有 害 物 表 示		－		ポリイソシアネート		
国 連/指 針 番 号		1263/128		1866/128		
環 境 性 能	クロル ^リ ホス	配合せず	ホルムアルデ ^ヒ ド ^ト	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	0.7%	パ ^ラ ジ ^ン クロ ^ロ ベ ^ン ゼ ^ン	配合せず	エ ^チ ル ^ベ ン ^ゼ ン	0.2%
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ ^ン -n-ブ ^チ ル	配合せず	テトラ ^エ カン	配合せず
	フタル酸ジ ^ン -2-エチルヘキシル	配合せず	ダイ ^ア ジ ^ン	配合せず	アセ ^ト アルデ ^ヒ ド ^ト	配合せず
	フェノ ^ル カル ^ボ ン	配合せず	鉛	配合せず		
T V O C		46.3%				
商 品 ラ イ ン ア ッ プ		ナスコン、グリーン、モスクグリーン、マルーン、ニューワイン、コーヒブラウン、チョコレート、ダークチョコレート、ダークグレー、ディープグレー、ブラック、ミラノグリーン、ナポリブラウン、トリノブラウン、ホワイト、ローマオレンジ、オレンジイエロー、ブラウン、ライトグレー、ジェノバブラウン、ベネチアブルー、赤さび、スカイブルー、ボローニャグリーン				

・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。

□ 塗 装 基 準

混 合 比：
荷 重 比：
ポットライフ：
希 釈 剤：
塗 装 方 法：

2液形のため、「塗料液(主剤)：硬化剤=9：1(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。

15kgセット(塗料液(主剤)：硬化剤=13.5kg：1.5kg)

6時間(23°C)

塗料用シナーA

塗 装 方 法	はけ、ウールローラー、エアレススプレー塗り
希 釈 率	0~10%
使 用 量	0.15~0.18kg/m ² /回

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

・使用量：銅板屋根の場合 0.12~0.14kg/m²/回、スレート屋根の場合 0.15~0.18kg/m²/回

乾 燥 時 間：

	5~10°C	23°C	30°C
指 触 乾 燥	60分	30分	20分
塗 り 重 ね 乾 燥	4時間以上7日以内	3時間以上7日以内	2時間以上5日以内

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

□ 特 記 事 項

- ・水切り部で屋根材の重なり部分に塗料が附着し詰ましていると、漏水の原因になります。皮すき、ケレン棒、カッターなどを用いて溜まった塗料を除去する縁切りを行ってください。
- ・水洗い後は、1日以上乾燥させてください。また素材表面が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください(光沢低下、膨れ、割れ、はく離の原因となります)。
- ・下地調整が不十分だと塗膜はく離の原因となったり、光沢が出ないなどの仕上がり不良になる場合があります。塗り替えでは必ず素地に近づけ9.8MPa(=100kgf/cm²)以上の高圧水洗か金属ワイヤブラシなどによるケレン後、水洗いを実施し、附着物、劣化塗膜や基材の劣化物を十分に除去してください。
- ・昼夜の温度差が激しい時期や、山間部など夜露の早く降りる地域では、結露によるつや引け現象が起こりやすいため、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。塗装後早期に結露の影響を受けると光沢低下や膨れ、割れ、はく離の原因になります。
- ・塗装場所の気温が5°C未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・粘土瓦の種類で軸葉瓦へ塗装する場合は、ファインパーフェクトベスト強化シーラーを下塗りとしてお使いください。
- ・その他の粘土瓦(いぶし瓦など)には使用しないでください。

- ・洋風コンクリート瓦仕様の再塗装の場合は、別途最寄りの営業所にお問い合わせください。
- ・経年劣化や下地の劣化が著しい場合は、「ニッペファイン浸透造膜シーラー」、「ニッペファインパーフェクトベスト強化シーラー」をご使用ください。
- ・シリコンベスト強化シーラーをご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により旧塗膜を侵し、溶剤膨れや縮みなどの異常が発生することがあります。試し塗りなどでご確認のうえ、本施工を行ってください。
- ・シーラー類、サフェーサーと上塗りの混合は避けてください。はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
- ・下塗り乾燥後、ガムテープで基材のはく離がないかチェックし、はく離がある場合は、再度下塗りを塗付してください。
- ・防さび性はありません。むね、すみむねなど金属製役物が、さびている場合は、発錆部とその周囲を十分にケレンし、下塗りに、「ニッペ1液ハイボンファインデクロ」塗装後、上塗りを塗装してください。
- ・塗り替え後は、滑雪性がよくなる場合があります。積雪時にまとまった雪が落ちる可能性がありますのでご注意ください。
- ・無石綿スレート板に塗装すると反りやクラックが発生する可能性があります。

□ 注 意 事 項

- ・ 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- ・ 異なる色相を塗り重ねる場合（例：1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など）2回目の上塗りが1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色（ブリードにより）する場合がありますのでご注意ください。
- ・ 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・ 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ・ 硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- ・ 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- ・ 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合（高湿度、結露、降雨など）、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- ・ 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ・ 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
- ・ 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- ・ 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・ 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ・ 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・ 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・ 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ・ はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ・ ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- ・ 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ・ ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ・ 可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装は避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- ・ 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- ・ 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ・ 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- ・ 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

●本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

●本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

●Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved. ※この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。